

2022年2月26日(土)

共に学び、生きる共生社会コンファレンス

第3分科会

公民館でつながるなかま～しょうがいを超えた出会いと学び～

助言者:永澤義弘さん(立正大学非常勤講師、元邑楽町公民館長)

コーディネーター:針山和佳菜さん(国立市公民館社会教育主事)

「障がいのある方の生涯学習」の大切さが、いま、改めて注目されています。各市町村の公民館では、障がい者青年学級として、様々なかたちで障がいのある方の学習・余暇活動が行われてきました。障がいのある/なしに関わらず、支え/支えられながら、誰もが学び楽しむ主体として関わってきた青年学級が育んできたものや価値とはなんでしょう？

公民館だからこそできること、「福祉」と「社会教育」のちがいが、活動に参加するなかで気づいたこと……。青年学級に関わる、〈職員〉・〈スタッフ(ボランティア)〉・〈メンバー(障がい当事者)〉それぞれの視点から、参加者のみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

【分科会タイムスケジュール】

13:00～ 趣旨説明(10分)

13:10～ 事例報告(45分)

①〈職員の見点〉藤田和良さん(邑楽町中央公民館館長)

②〈スタッフの見点〉東大和市中央公民館ビートクラブ

菅田政志さん(音楽講師)、関野大樹さん(スタッフ)

③〈メンバーの見点〉町田市障がい者青年学級ひかり学級

加藤功治さん(課外活動コース班長)、望月智子さん(課外活動コース副班長)、大山文子さん、近藤美佐子さん、塚原玲奈さん、辻桂子さん(課外活動コース)

13:55～ 質疑応答/グループワークの説明(10分)

14:05～ 休憩(10分)

14:15～ グループワーク(45分)

※Zoomのブレイクアウトルームで行います。事例報告①②③のなかから、より聞いてみたい・深掘りしたい〈見点〉を選んで参加してください。

15:00～ 各グループからの報告(10分)

15:10～ 永澤義弘さんからのコメント(20分)

15:30 分科会終了